

### Ⅲ 主要事業の紹介

※予算額は、百万円未満四捨五入です。  
( )は令和5年度当初予算額、  
[2月補正]は令和4年度2月補正予算額、  
<12月補正>は令和4年度12月補正予算額です。

## 1000億円の人づくり

### 未来を担う人づくり

#### ◆未来子どもチャレンジ応援プロジェクトを始動（1億6,100万円）

- ・青少年アンビシャス運動の成果を発展的に継承し、子どもたちが未来に向けてチャレンジする力を養うため、市町村や企業等、多様な主体による体験活動の提供を支援
- ・子どもたちが創意工夫しながら競い、交流を深める「折り紙ヒコーキ大会」の参加団体を拡大し、県大会を開催
- ・高校生が被災地等で合宿し、海外からのボランティアや地域の人々と交流する「国際ボランティアワーク」を実施
- ・青少年アンビシャス運動を支えてきたアンビシャス広場に対する支援を継続
- ・(公社)福岡県青少年育成県民会議の体制を強化し、プロジェクトを強力に推進



<様々な体験活動に取り組む子どもたち>

#### ◆未来の地域リーダーを育成する取組を拡大（1,500万円）

- ・中学生を対象に、未来の地域リーダーを育成する「田川飛翔塾」の取組を32市町村に拡大

#### ◆子どもたちに公立美術館等の無料鑑賞機会を提供（1億4,300万円）

- ・コロナ禍を越えて小中学生が文化芸術に触れる契機となるよう、令和5年度に限り、県立・市町村立の美術館・博物館等の常設展を無料化

#### ◆「福岡から世界へ」高校生応援海外研修プロジェクトを実施（3,800万円）

- ・世界を舞台に活躍したい高校生を対象に、海外の県人会企業での就業体験やシリコンバレーの企業・大学等で最先端の知識・技術を学ぶ研修を実施

#### ◆公立中学校における休日の部活動の段階的な地域移行を推進（9,400万円）<12月補正 500万円>

- ・モデル市町村において、部活動を地域スポーツクラブで行うなど、地域移行に向けた実証を実施
- ・地域移行の担い手として期待される部活動指導員（外部指導者）の市町村への配置を支援

#### ◆次代の人材を育成する教育DXを推進（2億4,900万円）

- ・県立高校において、一人一台のタブレット型パソコンを活用し、指導に長けた教員によるオンライン夏期講習など、学校の枠を越えた教育活動を実施
- ・学習データを蓄積・分析するデジタル採点分析システムを導入し、個々の生徒に合わせた指導や授業の改善を実施
- ・長期入院や不登校の生徒がオンラインによる遠隔教育を受けられる環境を整備
- ・ICT支援員を全県立学校に派遣し、ICT技術の支援体制を充実



<PCを活用した授業>

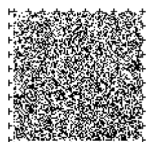
#### ◆農業高校においてDX人材を育成<12月補正 2,700万円>

#### ◆県立高校におけるインクルーシブ教育システムを推進（3,600万円）

- ・介助が必要な生徒が十分な教育を受けられるよう、生徒を1対1で介助する特別支援教育支援員を増員

#### ◆新設する特別支援学校の建設を推進（55億1,600万円）

- ・令和6年度開校予定：糸島
- ・令和7年度開校予定：宗像・早良



## 経済成長を支える人づくり

### ◆本県の成長産業等で活躍するテクノロジー人材を育成（5,700万円）

- ・パワー半導体等の企業の優れた技術や将来性を学び、技術者を目指す人材を創出する「テクノロジー人材創生塾」を中高生を対象に開催
- ・県内外の理工系大学生等を対象に、企業を見学・体験する「オープンカンパニーツアー」を実施
- ・県内の半導体、デジタル、自動車、ものづくり企業の魅力を中高生に訴えるイメージ動画をYouTube等で配信
- ・企業のPR動画や会社見学会等の情報発信を強化するWebサイトを構築



<企業見学会>

### ◆半導体関連企業の人材確保を支援（5,300万円）

- ・高等技術専門校でものづくりを学ぶ訓練生を対象に、オーダーメイド訓練を実施し、即戦力となる人材を育成
- ・県内外の理工系学生や転職希望者を対象に、オンライン面接会を開催
- ・県外の理工系学生を県内企業に呼び込むため、参加者に交通費・宿泊費を助成するインターンシップを実施



<半導体装置の基板製作訓練>

### ◆「福岡県半導体人材リスキリングセンター（仮称）」を改組・新設し、人材育成を強化（7,900万円）

- ・半導体人材の育成を強力に推進していくため、「システム開発技術カレッジ」を抜本的に見直し、デジタル産業や自動車産業などの重要技術に精通した人材等を養成する「福岡県半導体人材リスキリングセンター（仮称）」を開設（県内中小企業は受講無料）

### ◆次代を担う商店街リーダーを育成（300万円）

- ・商店街が次世代のリーダーとして推薦する若手店主に対し、専門家によるリーダー育成プログラムを実施

### ◆次代を担う農業人材を育成（1,500万円）

- ・農業大学校で基礎研修を受講した雇用就農希望者を対象に、複数の農業法人で農作業を経験する「トラリアル就農」を実施

### ◆建設業の魅力を発信（2,500万円）

- ・建設業への就職につなげるため、業界団体と連携し、処遇改善の取組や建設業の魅力を発信
- ・建設業における女性活躍を推進するため、建設現場で活躍する女性にフォーカスを当てたPR動画の配信や女性技術者向けセミナーを実施

## いきいきと輝く人づくり

### ◆IT、建設業、農業など様々な分野における女性活躍を推進（1億100万円）

#### [全産業]

- ・IT、製造業、運輸業などの女性若手経営者等と県が、女性活躍のための課題や必要な取組等について幅広く意見交換する「女性活躍イノベーションワークショップ」を開催
- ・働く女性の交流の場「福岡キャリア・カフェ」を提供し、企業等の垣根を越えたネットワークを形成
- ・企業発展の鍵となる女性人材の「CXOバンク」への登録を推進

#### [IT]

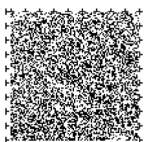
- ・IT分野での就労を希望する女性に対し、スキルに応じた研修から就職、キャリアアップまでパッケージで支援

#### [建設業]

- ・建設業における女性活躍を推進するため、建設現場で活躍する女性にフォーカスを当てたPR動画の配信や女性技術者向けセミナーを実施

#### [農業]

- ・事業拡大を目指す女性農林漁業者が応援企業を募るベンチャーマーケットを開催するとともに、応援企業との取引に必要な機器導入等を支援



Q 「CXOバンク」とは何ですか？

A 福岡県内の大学発ベンチャーやスタートアップの創出・事業拡大のために必要な高度経営人材をデータベース化し、企業とマッチングする事業です。

◆ひとり親など子育て女性の安定就業・収入向上を支援（9,000万円）

- ・子育てなど時間的制約のある求職者が利用しやすいよう、「子育て女性就職支援センター」及び「ひとり親サポートセンター」にSNS相談窓口を開設
- ・就職面接時の託児経費を助成し、就職活動を支援
- ・子育て中のひとり親女性等に対し、オンラインによるIT研修と雇用のあっせんが一体となったプログラムを実施
- ・WebデザインなどIT系の訓練を希望する子育て女性に対し、平日夜間や土日に短時間で受講できるコースを追加

◆障がいのある人などの就業機会を拡大（1億8,400万円）

- ・障がい者施設の利用者や引きこもり、難病の方などが書籍等のデジタル化業務を行う「福岡モデル」を北九州地域に拡大
- ・農福連携による障がい者雇用を促進するため、障がい者が働く植物工場に対し、農業指導員の配置を支援
- ・福岡市に加え、北九州市に障がい者テレワークオフィスを設置し、障がい者雇用の環境整備を促進

◆働きたい高齢者の就業機会を拡大（1,100万円）

- ・生涯現役チャレンジセンターが企業を訪問し、概ね65歳以降の在職者の再就職等を支援
- ・就業機会の拡大を図るシルバー人材センター等に対し、課題解決を支援するための専門家を派遣

◆大牟田高等技術専門校の建設に着手（1億400万円）

- ・産業人材を育成する大牟田高等技術専門校の移転・建替に向け、基本設計及び敷地測量、地質調査を実施
- ・建替えに合わせ、「プログラム設計科（2年コース）」、「介護サービス科」を設置

◆飲食店におけるマネジメント人材を育成＜12月補正 2,900万円＞



<書籍のデジタル化>

## 社会を支える人づくり

◆介護サービス事業所におけるチームケアの取組を推進（800万円）

- ・業務分割により短時間雇用人材を活用し、介護職員の負担を軽減する「チームケア」の導入を進めるため、研修動画を制作



◆働きやすい介護職場の認証制度を創設（1,800万円）

- ・介護人材の確保・定着を図るため、育児休業制度充実等の労働環境改善や職員の人材育成に取り組む介護サービス事業所を認証・公表する制度を創設

◆待機児童の解消を推進（2,800万円）

- ・保育士・保育所支援センターに「人材確保コーディネーター」を追加配置し、短時間雇用を希望する保育士の掘り起こし、保育所とのマッチングを実施
- ・保育士不足で定員割れしている保育所等に対し、非正規雇用の保育士確保を支援

◆災害ボランティアの受け入れを迅速・効率化（200万円）

- ・Web上で災害ボランティアの事前登録や被災者ニーズとのマッチングが可能なシステムを構築

◆消防団への加入を促進（1,400万円）

- ・消防団員の勧誘活動強化に取り組む市町村を支援



◆地域伝統行事お助け隊を創設（200万円）

- ・担い手不足に悩む祭りなどの地域伝統行事の継続を支援するため、運営スタッフ等として参加できる方を登録し、地域に派遣

